

令和 4 年版

消 防 年 報



大 磯 町 消 防 本 部

ま え が き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と令和4年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として令和5年4月1日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

令和5年7月

大磯町消防本部

災害動向（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は8件で、前年より3件の増加となっています。火災の種別では、「建物火災」2件、「車両火災」1件、「その他の火災」5件となっており、「建物火災」の件数は、前年より1件の増加となっています。出火原因は、「失火」4件、「その他（放火、放火の疑い含む）」4件でした。なお、火災により亡くなられた方はおりませんでした。

●119番通報状況

119番通報の着信件数は2,280件で、前年より426件の増加となっています。通報の内訳は、「救急」1,581件、「火災」27件、「救助」2件、「問い合わせ」130件、「間違い」69件、「試験・訓練」71件、それ以外の着信件数は400件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1,302mmで、前年に比べ380.5mmの減少となっています。1か月の降雨量が200mmを超えた月は7月と9月で、7月の降雨量は227.5mm、9月の降雨量は202mmでした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」6件（前年より3件増加）、「波浪警報」2件（前年と同数）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,897件で、前年に比べ330件の増加、搬送人員は1,804人で304人の増加となっています。事故種別では、「急病」1,333件、「一般負傷」347件、「交通事故」80件、それ以外の出動件数は137件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が1,260人（69.8%）と最も多く、前年より285人の増加となっています。また、傷病の程度では、重症の搬送人員は98人（5.4%）で24人増加し、中等症は640人（35.5%）で15人の増加となっており、軽症の搬送人員は1,026人（56.9%）で前年より262人の増加となり最も増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は4件で、前年と比べ4件の減少、救助人員は4人で前年と比べ2人の減少となっています。事故種別では、「交通事故」1件、「水難事故」2件、それ以外の事故件数は1件でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は263件で、前年と比べ28件の増加となっています。支援種別では、「その他（救急隊の活動を円滑に行なうための出動等）」が211件、「搬出困難」36件、「交通事故」16件でした。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
- 1 公德心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
- 1 心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和56年1月1日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和59年12月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成22年11月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。



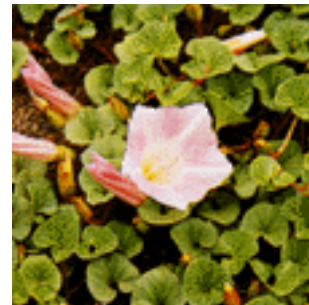
△かもめ



△アオバト

● 町の花

「はまひるがお」は、平成10年2月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径4～5センチの薄紅色の花は、漏斗状で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。



△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和50年4月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。



△くろまつ



△さざんか

凡 例

- 1 本書は、大磯町の消防現勢と令和4年中の消防活動のあらましを収録したものです。
- 2 各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないものは令和4年中の数値です。
- 3 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合計数と内訳が一致しない場合があります。
- 4 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0」……単位未満
 - 「…」……不詳

※ 欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

— 目 次 —

大磯町の地勢	1
人口・世帯数	2
[消 防 の 概 要]	
大磯町消防のあゆみ	3~10
歴代消防長・消防団長	11
消防庁舎の現況	12
消防機構図	13
消防本部・署事務分掌	14, 15
消防本部・署の現勢	16
常備消防力の基準と現有消防力の比較	17
消防配置図	18
消防本部・署現有車両機械状況	19
機械器具等	20
消防水利状況	21
町内消火栓管区図	22
[総 務]	
主要行事	23
消防予算額	24
町総予算（一般会計）と消防予算との比較	24
消防費と世帯・人口比	24
消防職員定員・実員・年齢	25
[火 災 ・ 通 信 ・ 気 象]	
月別火災発生状況	26
原因別火災状況	27
地区別出火状況	28
専用電話(119番)月別着信状況	29
現有无線局状況	30
気象状況	31
気象通報受信状況	32
[救 急 ・ 救 助]	
救急活動状況	33
地区別救急出場件数	34
時間別救急出場件数	35
曜日別救急出場件数	35
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	36
収容病院別搬送人員	37

事故種別応急処置回数	38
月別救急支援活動件数	39
月別救助出場件数	40
[予 防]	
防火対象物状況	41
防火管理者届出及び消防計画届出状況	42
火災予防関係届出状況	43
建築物消防同意状況	44
用途地域別建築物消防同意	45
中高層建築物状況	46
危険物関係届出状況	47
危険物施設状況	48
指定数量別危険物製造所等の状況	49
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量	50
[消 防 団]	
消防団の現勢	51
消防団の現況	51
消防団分団別受持区域図	52
消防団分団別受持区域表	53
各分団所在地	54
消防団員階級別年齢	55
職業別消防団員数	56
消防団員在職年数	56
消防団員報酬額	56
消防団員費用弁償額	56
消防団現有車両機械状況	57
[その他 統計]	
防災訓練実施状況	58
救命講習会等実施状況	59
参考資料	60

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県中央南部（東経 139° 18' ，北緯 35° 18' ）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 km、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 k m² で、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65% を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※ 緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

(令和5年4月1日現在)

字名	世帯数	人口		
		総数	男	女
高麗	1,106	2,686	1,341	1,345
高麗一丁目	366	987	484	503
高麗二丁目	587	1,381	692	689
高麗三丁目	153	318	165	153
東町	701	1,769	856	913
東町一丁目	248	617	298	319
東町二丁目	128	346	166	180
東町三丁目	325	806	392	414
大磯	2,622	5,992	2,907	3,085
東小磯	1,242	2,952	1,431	1,521
西小磯	1,741	4,285	2,090	2,195
国府本郷	2,044	5,066	2,434	2,632
国府新宿	1,236	3,205	1,561	1,644
生沢	870	1,963	1,013	950
寺坂	117	283	146	137
虫窪	95	372	164	208
黒岩	76	176	82	94
西久保	43	115	63	52
石神台	713	1,625	775	850
石神台一丁目	243	543	256	287
石神台二丁目	195	453	210	243
石神台三丁目	275	629	309	320
月京	296	690	321	369
町内全地区合計	12,902	31,179	15,184	15,995

参考	総面積 17.23km ²	1km ² あたりの	
		世帯数	人口(人)
		749	1,810